

2025年9月7日、MIZUBE キャラバン特別編「We are ひがた ECO キッズ！」を実施いたしました！



このイベントは、大阪 ECO 動物海洋専門学校の学生たちが考案した企画で、なにわ CHISHIKI 浜に親子を呼んで海に親んでもらうことが目的です。

なにわ CHISHIKI 浜は、令和5年に大阪公立大学生を中心に、今後の本フィールドでの里海づくりについて取組み案を検討しました。里海の名称を「なにわ CHISHIKI 浜」とし、家族連れが里海づくり体験や生き物観察ができる里海を将来像として検討しました。

なにわ CHISHIKI 浜について(https://osaka.uminohi.jp/report/20241106_1/)

今回、友ヶ島（深山）・河内長野・東横堀川と3つの地点をめぐって、海・源流域・都市河川のことを学んできたキャラバン隊は、最後に都市部に近い海での学習になります。友ヶ島での学びとは違い、今回は海の干潟について学び、工業地帯の中にあるなにわ CHISHIKI 浜で体験プログラムに参加しました。



まずは、漁港であいさつをしたのち、船に乗ってなにわ CHISHIKI 浜へ向かいます。今回は、堺出島漁港の堺市漁業協同組合連合会の皆様にもご協力いただきまして、船を出していただきました。他にも、大阪府漁業協同組合連合会のみなさま、大阪府環境保全課の方たちにもご協力いただきました。

10分くらいで干潟へ到着しました。慣れない船から降りるのに四苦八苦しな
がら、干潟へ降ります。

現地では、大阪 ECO の学生さんたちが待っており、これから行うイベント内容
について説明をしていただきました。



まずは、水中ドローンで海中の生きものを探してみます。少し濁ってはいます
が、イワシなどの生きものを見ることができたようです。下の写真は、水中に仕
掛けてあったカメラの様子です。クロダイやカタクチイワシなどの魚が映って
います。なにわ CHISHIKI 浜には、小さな魚が集まり、それを食べる大きな魚も
集まってきていることがよくわかります。



続いて、参加者には、ビンゴカードとシェルボトルが配布されました。生きもののビンゴは、なにわ CHISHIKI 浜で見つけた生物でビンゴができるようになっています。また、シェルボトルのほうは、生きもののビンゴをやりながら落ちていく貝殻を拾って、お気に入りのものをひとつシェルボトルに入れ、お土産として持って帰って頂くものです。皆さん、熱心に生きもの探しと貝殻探しを行っていました。そして最後に、地引網の体験です。



朝から仕掛けていた地引網を参加者の皆さんの手で引っ張って、海の中にある魚たちを捕まえます。





引き上げた地曳網の中には、大量のカタクチイワシが！水中ドローンや干潟の岸からも見えてはいましたが、大きな群れが地引網の中に入り込んでいたようで、たくさんのイワシたちを観察することができました。また、網の中にはガンテンイシヨウジというタツノオトシゴの仲間も入っていました。



最後に、今日見ることのできた生き物についておさらいをして、生きものビンゴを完成させて終了となりました！

その後、船に乗って漁港へ戻り、堺市漁業協同組合連合会さん、大阪府漁業協同組合連合会さん、大阪府環境保全課の皆様がご用意くださったお土産をもらい、帰路につきました。

9月にもかかわらず、とても暑い日になりましたが熱中症などで具合の悪くなった人も出ず、楽しくイベントを終えることができました。この取り組みは、9月23日の関西万博会場でも紹介されます！

ご協力いただきました、堺出島漁港の堺市漁業協同組合連合会の皆様、大阪府漁業協同組合連合会のみなさま、大阪府環境保全課の皆様、そして参加者の皆様ありがとうございました！